

「新しい生活様式」を取り入れた学校生活について

藤井学園寒川高等学校 保健室

☆ 新型コロナウイルスの感染は 接触感染・飛沫感染 です。

感染を抑止するために【密集】【密閉】【密接】＝3密を避ける努力をしてください。

少しでも 学校生活が快適に過ごせるように協力していきましょう。

☆感染防止の基本

①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い

1 登校前

- 体温を測り、風邪症状（息苦しさ、強いだるさ・高熱等）や味覚・嗅覚の異常の有無を確認し、「体調チェック表」に記入してください。
- 体調に異常があれば、登校を控え欠席連絡を入れその旨を伝えてください。

2 登下校中

- 特に公共交通機関を利用する生徒は、「換気の悪い密閉空間」「多くの人の密集」「近距離での会話や発声等」を避けるような工夫をしてください。
(空いている電車を利用したり時間に余裕を見て登校する、友人と向き合ったり集団になったりしての会話をしないなど、他の乗客に対する迷惑にならないよう配慮するとともに、トラブル等にも気をつけましょう。)
- 電車やバスでは他の人との距離を保つようにし、保てない場合は互いに向き合わないようしましょう。
- 可能な範囲で徒歩や自転車の利用をしてください。
- 通常と同様に自転車マナー・乗車マナーを守り、交通安全に気をつけてください。

3 登校直後

- 家を出る前に検温・健康観察ができなかった場合は登校時に申し出てください。
職員室または保健室でタッチレス体温計で検温し、健康観察を行います。
発熱、健康観察で異常がみとめられる場合は保護者に迎えに来てもらいます。(帰宅して休養)
- 登校後すぐ教室に入る前に手洗いをしましょう。(30秒以上しっかりと洗ってください)

4 授業中

- マスクを着用してください。
(運動時や熱中症対策が必要な場合等は別途対応。)
- 窓は原則として常時開放し、授業終了後は換気を行う。
(雨天時やエアコン稼働時も適宜換気を行う。)
- 大声で話すこと、対面で話すことを避けてください。

5 休憩時間・昼休み・放課後・清掃

- 教室・廊下の窓を開けて換気をしてください。
- 大声や近距離で話さないようにしてください。
- トイレの使用後は必ず石けんでの手洗いをしましょう。（30秒以上もしくは消毒。）
- 昼食等、飲食の前は必ず石けんでの手洗いをしましょう。（30秒以上もしくは消毒。）
- 昼食時に机を寄せたり、対面になったりすることは避けてください。
- 食事中は会話を控えてください。
- 食事を分け合ったり、食器の共用、回し飲みなどはしないでください。
- 購買部の利用や教材の購入の際に並ぶ場合は前の人との距離をとりましょう。
- 水道の蛇口、ウォータークーラーからの飲料水の直飲みは禁止します。
水分補給のためには 水筒を持参することが望ましいでしょう。
- 清掃後は必ず手洗いをしましょう。（30秒以上もしくは消毒。）

6 帰宅後

- ただちに手洗いをしてください。（石けんを用いて30秒以丁寧に洗ってください。）

7 日常生活

- 飛沫感染、接触感染には注意が必要ですが、空気感染はしないといわれています。またウィルスは細胞においてしか増殖しません。感染しないのと同時に、万一自身が無症状のまま感染していたと仮定して、他人に感染させないような行動を心がけることが大切です。
- 接触感染を避けるためには、清潔でない状態の手で目や鼻や口に触らないようにすることも大切です。金銭の授受を伴う買い物やスマホの画面タッチなどによりウィルスが付着するケースもあり得るので、スマホやキーボード、スイッチなど共用部分は適宜消毒など、大切な家族や友人を守るという意識を持ちましょう。
- お互いがお互いを思いやる姿勢で過ごしましょう。

8 人権を守る

- 誤った情報に振り回され、他人を傷つけることがないように、正しい情報により適切に判断、行動するよう努めてください。

新型コロナウイルス感染症に関する誤った情報や認識に基づく、感染者、濃厚接触者、医療従事者等やその家族に対する不当な差別、偏見、いじめ、SNS での誹謗中傷等は重大な人権侵害です。

そして、この感染症は、真偽のわからない情報から不安が生まれ、不安が偏見や差別を生み、差別を受けることが怖くて熱があっても休むことをためらう人が増えることで更なる病気の拡散につながることも危惧されています。憶測やデマに惑わされず、冷静に行動するとともに、誰もが安心して学校生活を送れるよう、人権を大切にされた行動をしていきましょう。